

## 外科専門研修プログラム（概要）

### 【兵庫京大外科研修プログラムについて】

神戸市立医療センター中央市民病院（以下、中央市民病院）で、消化器・移植外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、の専門研修を希望される場合は、『兵庫京大外科専門研修プログラム』での一括の採用となります。そこでこれからこのプログラムの特徴の概要についてご説明します。上記4科での具体的な研修内容に関しましては、それぞれのページをご参照ください。

#### ①プログラムの特色

中央市民病院(当院)を基幹病院とし、兵庫県内の有数の高度急性期病院と救命救急センターを有する7病院（県立尼崎総合医療センター、姫路医療センター、西神戸医療センター、神鋼記念病院、公立豊岡病院、神戸市立医療センター西市民病院、赤穂市民病院）を連携施設として配置する地域医療に配慮した病院群を形成しています。

グループ全体で高難度手術を含む年間約11000件の手術（内視鏡手術年間約6000件）を行っており、数多くの手術を経験するとともに外科疾患の理解を深めるには極めて恵まれた環境にあります。また専門研修指導医数は75名（2025年4月時点）で、消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・小児外科・乳腺外科のみならず肝胆膵外科高度技能指導医、内視鏡外科技術認定医など専門性の高い指導医陣を配しています。

#### ②採用について

『兵庫京大外科研修プログラム』の採用定員は各科合わせて17名の予定です。サブスペシャリティごとの採用定員は設定しておりません。採用は書類審査と面接が行われ決定します。

このグループの病院での研修を希望される方は、『兵庫京大外科研修プログラム』に採用されて配属となります。各病院での採用は行われません。

#### ③研修病院、研修期間

主な研修を行うメイン施設を設定し、そこで少なくとも2年間の外科専門研修を行います。残りの1年の内、半年は基幹病院(中央市民病院)、半年は連携施設での研修となります。またこの3年間の中で希望のサブスペシャリティ以外の科目(例えば消化器外科希望であれば、それ以外の心臓・呼吸器・小児・乳腺の各外科)もローテートし専門医に必要な症例数を経験します。

メイン施設の選択は研修医師の希望が最優先されますが、各病院の状況を考慮した上で最終的にはプログラム管理委員会にて決定されます。

#### ④外科専門研修修了後の進路

『兵庫京大外科専門研修プログラム』修了後は、研修修了医師の希望にて自由に選択が可能です。もし京大系列でのキャリアパスを考えられる場合は、京都大学外科交流センター、京都大学呼吸器外科、京都大学心臓血管外科との連携と情報共有を行い、研修修了後

も手厚いサポート体制を整えています。またそれ以外にがんセンター、循環器病センター、こども病院などの専門疾患病院での勤務も可能です。現在の神戸市立医療センター中央市民病院外科を例にすると、3年の研修期間が修了した人の約8割が京大系列のキャリアパスを選択されておりますが、残りはそれ以外の様々な進路を選択されています。

⑤ ダブルボードを目指す専攻医を対象としたカリキュラム制での採用

新専門医制度において、初めに救急領域の専門研修を修了し、二つ目の基盤領域専門医として外科専門医を取得（ダブルボード）を目指す専攻医の採用も行っています。

ダブルボードとしてのカリキュラム制での専攻医の採用は、プログラム制と同様に書類審査と面接にて決定します。また救急科領域の専門研修開始後2年間のうちに外科学会に入会し、外科領域における専門研修を行う意思を所定の書式で明示された場合は、個別審査の上で研修期間が1年短縮できる場合があります。

詳細は外科学会 HP の「新専門医制度におけるダブルボードによる専門研修について」  
[https://jp.jssoc.or.jp/modules/info/index.php?content\\_id=306](https://jp.jssoc.or.jp/modules/info/index.php?content_id=306)、を「参照ください。」